

2020年4月3日

日本ワクチン学会

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する BCG ワクチンの効果に関する見解【2020.4.3 Ver.2】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の広がりが、国内外で医学的、社会的に大きな問題となっています。国内でも感染者数と共に死亡者数が日増しに増加している状況ですが、一部の国と比較しますと、現時点では爆発的ではなく、緩やかなカーブを描いているように思われます。この原因は、これまでの政府および各地方自治体による様々な施策が功を奏していることと、国民一人一人の自製の効いた行動と心掛けによるところが大であるとまずは考えられます。

一方で、国内外より、幼少期の BCG ワクチンの接種の有無が各国の患者数や重症者数の多寡に関与しているのではないかという仮説<sup>1)</sup>が提唱されています。国外では、医療従事者における BCG ワクチン接種の有効性を確認するための臨床研究も準備されている<sup>1,2)</sup>ということです。

これを受けて、一般に新型コロナウイルス感染症による重症化のリスクが高く、BCG ワクチンの接種歴がない世代の方々より、接種を希望する声が医療機関に届き始めているようです。

こうした動きに対しまして、日本ワクチン学会の見解として、留意すべきポイントを下記のようにまとめました。

- 「新型コロナウイルスによる感染症に対して BCG ワクチンが有効ではないか」という仮説は、いまだその真偽が科学的に確認されたものではなく、現時点では否定も肯定も、もちろん推奨もされない。
- BCG ワクチン接種の効能・効果は「結核予防」<sup>3)</sup>であり、新型コロナウイルス感染症の発症および重症化の予防を目的とはしていない。また、主たる対象は乳幼児であり、高齢者への接種に関わる知見は十分とは言えない。
- 本来の適応と対象に合致しない接種が増大する結果、定期接種としての乳児への BCG ワクチンの安定供給が影響を受ける事態は避けなければならない。

新型コロナウイルス感染症に対しては、現時点までに蓄積された科学的知見をもとにした対応がなされていくことが第一義であると考えます。これと並行して、治療薬の開発、予防のためのワクチンの開発が早期に進むよう、本学会としても果たすべき役割を認識するところであります。

以上。

<文献>

- 1) Can a century-old TB vaccine steel the immune system against the new coronavirus?.  
Science HP: <https://www.sciencemag.org/news/2020/03/can-century-old-tb-vaccine-steel-immune-system-against-new-coronavirus>. 2020年3月23日掲載、2020年3月31日  
閲覧
- 2) Murdoch Children's Research Institute to trial preventative vaccine for COVID-19  
healthcare workers. Murdoch Children's Research Institute HP:  
<https://www.mcri.edu.au/news/murdoch-children%E2%80%99s-research-institute-trial-preventative-vaccine-covid-19-healthcare-workers>. 2020年3月27日掲載、2020年3  
月31日閲覧
- 3) 乾燥 BCG ワクチン 添付文書. 日本ビーシージー製造株式会社 HP :  
[https://www.bcg.gr.jp/medical/text\\_k\\_bcg.pdf](https://www.bcg.gr.jp/medical/text_k_bcg.pdf). 2020年3月31日閲覧.